

# 第1編 法人 IB サービスの概要

本編では、法人 IB サービスの概要および基本的な操作について説明します。

## 1章 法人 IB サービスの特徴

### 1.1 法人 IB サービスとは

法人 IB サービスとは、インターネットを経由してお客様のお手持ちのパソコンと当金庫とをオンラインで結び、インターネット閲覧用（ブラウザ）ソフトからご利用口座にかかる各種取引をしていただき、また、各種情報を参照していただけるサービスです。



- インターネットに接続されているパソコンなら利用可能  
インターネットに接続されているパソコンから利用が可能です。インターネットに接続されている社内 LAN があれば、専用のパソコンや新たに専用回線を引く必要はありません。
- 法人 IB サービスの本人確認方式  
法人 IB サービスをご利用になる際の本人確認方式として、以下の 2 種類を用意しています。
  - ◆ 電子証明書方式  
お客様のパソコンにあらかじめ取得した電子証明書とパスワードにより、お客様本人であることを確認する方式です。なお、電子証明書をご利用する場合は事前に電子証明書の発行および取得が必要です。
  - ◆ ID・パスワード方式  
ID とログオンパスワードを用いてお客様本人であることを確認する方式です。この方式においては、セキュリティ強化の為に資金移動取引等に都度異なる可変パスワード（利用者ワンタイムパスワード）を併用することを推奨します。

- 利用者の権限設定  
お客様の「法人 IB サービス」を利用する組織、部署や体制にあわせて、複数の利用者を登録することができます。この「利用者」には個別に権限を設定することができます。  
具体的には以下の2つを利用者に対して設定することで、お客様の業務に合わせるすることができます。
  - ◆取引、機能の利用可否
  - ◆取引金額の上限

**補足**

◆法人 IB サービスには管理者と利用者があります。

- ・管理者  
管理者は、複数の利用者を登録することができます。また、利用者毎に権限を設定することができます。
- ・利用者  
利用者は、管理者が設定した権限内での各種取引を実行することができます。

**参照**

◆管理者／利用者の詳細については、「I. 基本 第3編2章2.1 管理者と利用者について」参照

- マスタデータの登録  
お客様が、ご利用になる振込先などのマスタデータは、すべて法人 IB サービスに登録することができます。
- 金融機関情報のご提供  
法人 IB サービスでは、常に最新の金融機関情報をご提供します。そのため、お客様による更新作業などは必要なく、常に最新の金融機関情報をご利用いただくことができます。

**補足**

◆登録済の振込先口座の金融機関名称、支店名は更新されません。

- 汎用ソフトの利用  
法人 IB サービスは、「Microsoft Internet Explorer」などの無償のブラウザソフトを通じて利用することができます。ファームバンキング（以下、FBという）ソフトのような専用ソフトを導入する手間やコストがかかりません。
- 既存データの利用、他ソフト作成データの利用  
今までFBソフトをご利用のお客様は、振込先などのマスタデータを全銀フォーマットに変換することにより、法人 IB サービスでも利用することができます。また、その他ソフトで作成したデータについても、全銀フォーマットやCSV形式ファイルにすることで利用することができます。

## 1.2 ご利用時間

ご利用時間については、当金庫ホームページにてご確認ください。

## 1.3 セキュリティについて

インターネット上でのセキュリティを確保するためには、セキュリティ対策ソフトの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、パソコン上での十分な対策が必要です。

法人 IB サービスでは、以下のセキュリティ対策を行っておりますので、安心してお取り引きしていただけます。

- 契約者 ID (利用者番号) と利用者 ID でお客様を特定  
契約者 ID (利用者番号) とは、管理者用の ID であり、本サービスをご利用の都度、確認させていただく 11 桁の番号です。口座番号と異なるお客様固有の番号であり、法人 IB サービスでは、この ID によりお客様を特定いたします。  
また、利用者 ID とは、お客様の利用者ごとに設定していただく半角英数字 1～30 桁の文字であり、この ID によりお客様の各利用者を特定いたします。

**参照** ◆管理者および利用者の権限については、「1. 基本 第3編 2章 2.2 権限について」参照

- 7つの暗証番号を確認  
法人 IB サービスをご利用いただく際には、お取引の内容に応じて、以下の暗証番号を入力していただき認証を行います。
  - ◆ご契約先登録用暗証番号
  - ◆ご契約先暗証番号
  - ◆ご契約先確認暗証番号
  - ◆利用者暗証番号
  - ◆利用者確認暗証番号
  - ◆ご契約先ワンタイムパスワード (可変パスワード)  
※ご契約先ワンタイムパスワードは、確認用パスワードとして「お客様カード」に記載
  - ◆利用者ワンタイムパスワード (可変パスワード)

**重要** ◆「お客様カード」は、法人 IB サービスを利用する上で重要なカードです。不正に利用されないよう、管理者の方は厳重に管理するようお願いいたします。  
また、お客様カードを紛失された場合には、すみやかに当金庫へご連絡ください。

**補足** ◆法人 IB サービスにおける「ご契約先ワンタイムパスワード」および「利用者ワンタイムパスワード」は、いわゆるトークンを用いた1回限りの使い捨ての“ワンタイムパスワード”とは別のものです。

- 自動終了方式を採用  
法人 IB サービスを 15 分以上、端末の操作をされずに放置されますと、自動的にシステムを終了させていただく「自動終了方式」を採用しています。
- ログオン認証に電子証明書方式を採用  
お客様のパソコンに電子証明書をインストールすることにより端末認証を行います。ID とパソコンが対応付けられ、電子証明書がインストールされた特定のパソコンのみ、ログイン認証ができるようになるため、ID・パスワード方式認証に比べ、一層の安全性を確保することができます。
- 二重ログオンを規制  
同一の「契約者 ID」および「利用者 ID」による二重ログオンについては、システム側で規制します。

- Eメールによる通知  
各種暗証の変更時やパスワードロック時に、お客様に対してEメールが送信されます。不正利用の早期発見につながります。
- セキュアメールを採用  
Eメールに電子証明書を利用した電子署名を付与します。(セキュアメール ID を導入)  
Eメールの送信元の実在性、およびEメールの内容が通信途中で改ざんされていないことの確認ができ、フィッシング対策として有効です。  
なお、S/MIME※未対応のEメールソフトウェア(ウェブメール、モバイルやスマートフォンのメールソフト等)では電子署名をご利用いただけません。

※S/MIME(エスマイム)とは、「Secure Multipurpose Internet Mail Extensions」の略。電子メールの暗号化方式の標準です。

- 256ビットSSLに対応している暗号通信方式を採用  
SSLとは、「Secure Socket Layer」の略。インターネット上で、データ通信を行う際に利用される暗号通信方法の1つです。法人IBサービスでは、そのなかでも、現時点でもっとも解読が困難といわれている256ビットに対応したSSL方式を採用しておりますので、インターネット上でのお客様との情報のやりとりは安全に行われます。  
なお、Windows XPにおいては、SSLが機能しない脆弱性が指摘されているのでご注意ください。
- EV-SSL証明書を採用  
EV-SSL証明書とは、「Extended Validation SSL証明書」の略で、認証局の厳格な審査をクリアした企業だけが導入可能です。「Internet Explorer 8.0」等の高セキュリティのブラウザから法人IBサービスにアクセスした際に、ブラウザのアドレスバーが緑に変わり、ホームページの運営企業名もしくは証明書を発行した認証局名が表示されるため、フィッシングサイトとの判別が視覚的にできるようになります。
- ソフトウェアキーボード※を採用  
ログオンパスワードを入力する際、キーボードから入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェア対策として、ソフトウェアキーボードのご利用をおすすめします。  
※ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示してマウスでキーをクリックすることで、パスワードなどを入力することができるソフトウェアです。

参照

◆ソフトウェアキーボードの詳細については、「I. 基本 第1編 2章 2.3 ソフトウェアキーボードについて」参照

**【お願い】**

キーロガー型以外のスパイウェアやその他の悪意をもった不正プログラムがありますので、セキュリティ対策ソフトウェアの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、十分なセキュリティ対策を実施していただきますようお願いします。



## 2章 基本操作

### 2.1 管理者画面のメニュー構成

管理者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。

メインメニュー  
サブメニュー

ご契約先認証情報変更 | ご契約先管理情報変更 | ご契約先情報照会 | ログオフ

ご契約先暗証番号変更 | ご契約先確認暗証番号変更 | ご契約先Eメールアドレス変更

ご契約先情報照会 | ご契約先ステータス表示 | 2004/12/21 16:25:23

ご契約先ステータス

ご契約先名: 法人018様  
前回ログオン日時: 2004年12月21日16時02分43秒

ご利用履歴

	日時	管理者/利用者名
前回のご利用	2004年12月21日16時02分43秒	管理者
2回前のご利用	2004年12月21日15時05分39秒	法人 太郎
3回前のご利用	2004年12月21日12時08分16秒	法人 太郎

Eメールアドレス K018@shinkin.ne.jp

利用者のご使用状況

利用者名	ログオン日時	前回ログオン日時	ステータス
法人 太郎	----年--月--日--時--分--秒	2004年12月21日15時05分39秒	未使用
信金 花子	----年--月--日--時--分--秒	2004年12月20日19時45分45秒	未使用

メインメニュー	サブメニュー	参照先
ご契約先認証情報変更	ご契約先暗証番号変更	I. 基本 第6編1章
	ご契約先確認暗証番号変更	
	ご契約先Eメールアドレス変更	
ご契約先管理情報変更	契約口座情報変更	I. 基本 第6編2章
	利用者情報登録/変更	I. 基本 第6編3章
	ファイル伝送契約情報変更/参照 (ファイル伝送ご契約の場合)	I. 基本 第6編4章
	ご契約先限度額変更	I. 基本 第6編5章
	振込手数料マスタ登録/変更/参照	I. 基本 第6編6章
	マスターデータの一括削除	I. 基本 第6編7章
ご契約先情報照会	ご契約先ステータス表示	I. 基本 第6編8章
	操作履歴照会	

## 2.2 利用者画面のメニュー構成

利用者メニューは2階層になっています。メインメニューを選択すると、選択したメニューのサブメニューが表示されます。



メインメニュー	サブメニュー	参照先
利用者情報変更	利用者暗証番号変更	I. 基本 第7編1章
	確認暗証番号変更	
	E メールアドレス変更	
利用者情報照会	利用者ステータス表示	I. 基本 第7編2章
オンライン取引	残高照会	II. オンライン取引 第2編
	入出金明細照会	II. オンライン取引 第3編
	資金移動	II. オンライン取引 第4編
	資金移動予約取消	II. オンライン取引 第5編1章
	取引履歴照会	II. オンライン取引 第6編
	資金移動先口座情報(都度指定)編集	II. オンライン取引 第7編
収納サービス	税金・各種料金の払込み	II. オンライン取引 第8編1章、2章
	収納サービス取引履歴照会	II. オンライン取引 第8編3章
ファイル伝送	総合振込	III. ファイル伝送 第2編
	給与・賞与振込	III. ファイル伝送 第3編
	預金口座振替	III. ファイル伝送 第4編
	入出金明細データの受信/印刷	III. ファイル伝送 第5編
	外部ファイル送受信	III. ファイル伝送 第6編、第7編

## 2.3 ソフトウェアキーボードについて

### (1) 概要

ソフトウェアキーボードとは、画面上にキーボードを表示し、マウスでキーをクリックすることで、ログオンパスワードなどが入力できるソフトウェアです。特にキーボードからの入力情報を盗むキーロガー型のスパイウェアに効果があります。

#### 【お願い】

キーロガー型以外のスパイウェアやその他の悪意をもった不正プログラムがありますので、セキュリティ対策ソフトウェアの導入、OSやブラウザのアップデートの実施等、十分なセキュリティ対策を実施していただきますようお願いいたします。



### (2) 使い方

ソフトウェアキーボードは、各暗証の入力にご利用いただけます。

- ① **ソフトウェアキーボードを開く** をクリックします。  
⇒ソフトウェアキーボードが起動します。

※キーボードで入力する場合は、「キーボードで入力する」にチェックを入れます。

※画面は、「利用者暗証番号」の入力例を示しています。

- ② 入力用キーボードで、ご契約先暗証番号または利用者暗証番号を入力します。

※入力した最後の1文字を削除する場合は、**1文字クリア** をクリックします。

※入力したすべての文字を削除する場合は、**すべてクリア** をクリックします。

※暗証番号の入力をやめて、ソフトウェアキーボードを閉じる場合は、**閉じる** をクリックします。この場合、入力した文字は「ご契約先暗証番号」や「利用者暗証番号」入力欄には反映されません。

※暗証入力時に、「この Web ページがクリップボードへアクセスするのを許可しますか」というメッセージが表示される場合は、「アクセスを許可する」を選択することにより、引き続き入力が可能となります。

※「ご契約先暗証番号」の入力時には記号は表示されません。

- ③ **OK** をクリックします。

⇒ソフトウェアキーボードが閉じます。

※入力した文字が、「ご契約先暗証番号」または「利用者暗証番号」入力欄に反映されます。

#### 補足

◆ソフトウェアキーボードご利用時に「この Web ページがクリップボードへアクセスするのを許可しますか?」というメッセージがダイアログボックスで表示された場合には、「アクセスを許可する」を選択して継続してください。

## 2.4 入力可能文字について

法人IBサービスで入力可能な文字は、次のとおりです。

### (1) システムサポート文字

タイプ	文字
数字	半角の0~9
英字	半角のa~z、A~Z
カナ	半角カナ、半角の濁音(゛)、半角の半濁音(゜)
全角文字	<p>全角文字。 ただし、以下の範囲のS-JIS漢字コードで規定された漢字コードのみとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一水準の漢字コード</li> <li>・第二水準の漢字コード</li> <li>・S-JISコードの「ED40~EDFC」(NEC選定IBM拡張文字)</li> <li>・S-JISコードの「EE40~EEFC」(NEC選定IBM拡張文字)</li> <li>・S-JISコードの「F040~F9FC」(エンドユーザ定義文字)</li> <li>・S-JISコードの「FA40~FC4B」(IBM拡張文字)</li> </ul>

### (2) 項目別入力可能文字

項目	入力可能文字
ご契約先暗証番号、 ご契約先確認暗証番号、 利用者暗証番号、 利用者確認暗証番号	<p>半角数字、半角英字および以下の半角記号 (6桁~12桁) ( ) .(ピリオド) -(ハイフン) / { } ` : , # &lt; &gt; * % @ + ; = ? _ ※半角数字のみ、半角英字のみはご利用いただけません。</p>
オンライン取引	<p>半角数字、半角英字、半角空白、半角カナおよび以下の半角記号 ( ) .(ピリオド) -(ハイフン) / ¥ 「 」 ※「EDI情報」、「振込依頼人」については、入力文字を自動的に次のとおり変換します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全角→半角</li> <li>(2) カナ小文字 (ッ、ャ、ュ、ヨ) →カナ大文字 (ツ、ヤ、ユ、ヨ)</li> <li>(3) 英小文字 (a、b、c、d) →英大文字 (A、B、C、D)</li> <li>(4) “ー” (長音) → “-” (ハイフン)</li> </ol>
ファイル伝送	<p>半角数字、半角英字、半角空白、半角カナ、以下の半角記号 ( ) .(ピリオド) -(ハイフン) /</p>